

2015年度 関西学院大学自己点検・評価 ＜A票＞第三者評価結果【国際学部】

A-1. 理念、A-2. 目的、めざす学生像、学位授与方針

| | | |
|----------------|--|--|
| 【確認1】 | 「学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」は、「A-1. 学部の理念」に沿い、めざす方向性を適切に表現しているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【確認2】 | 「学部の目的(Web サイト上)」は、A-2「学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」に沿った内容であり、社会に対して分かりやすい表現になっているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【確認3】 | 「めざす学生像」と「学位授与方針」は、A-2「学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」、「学部の目的(Web サイト上)」と整合性が取れ、目的の実現に向けて相応しい内容となっているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【確認4】 | 学位授与方針は、学位授与にあたり、学位授与基準および当該学位に相応しい学習成果を明確に示しているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 2名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名 | ・学修成果の可視化を図り、水準に合わない学生の基準、厳格な成績評価・卒業認定についての記載がなされることが期待されます。(評価者C) |
| 【確認5】 | 学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【確認6】 | 目的、「めざす学生像」、「学位授与方針」は周知・公表されているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【適切性の 検証体制】 | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【検証】 | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 第三者評価結果 【国際学部】

| プロセス】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
|--------------|-----------------------------|---------|
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【全体に対するコメント】 | | |

A-3. 教育研究目標

| | | |
|--------------|---|--|
| | 「教育研究目標」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| 【確認1】 | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | ・ 簡便かつ分かりやすい表現でした。(評価者 B) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| 【確認2】 | 1. 適切な自己評価がされている …………… 2名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名 | ・ 記載が一般的なものに止まり、内容が意欲的か否かがわかりにくいことから、より具体的な内容の記述が期待されます。(評価者 C) |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 「教育研究目標」は、周知・公表されているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| 【確認3】 | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| 【適切性の検証体制】 | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| 【検証プロセス】 | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | ・ 「成果」のところに、「毎年4月の学部教授会における決済・承認に反映されている」とありますから、検証エビデンスとして、学部教授会記録も入れてはいかがでしょうか。(評価者 A) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【全体に対するコメント】 | | |

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 第三者評価結果 【国際学部】

A-4. 教育課程の編成・実施方針

| | | |
|----------------|---|---|
| | 教育課程の編成・実施方針は、A-2「めざす学生像」、「学位授与方針」、A-5「学生の受け入れ方針」と整合性が取れているか。 | |
| 【確認1】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 教育課程の編成・実施方針は、A-3「教育研究目標」の達成に向けて相応しい内容となっているか、表現は適切か。 | |
| 【確認2】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 教育課程の編成・実施方針は、教育課程の編成や、教育内容、教育方法等に関する考え方を明確に示しているか。 | |
| 【確認3】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 2名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名 | ・ 入学者が自ら学修計画を立て、学修の実践に入っていくための初年度教育の具体的な記載が期待されます。(評価者 C) |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 学位授与方針の内容を実現するために、教育課程の編成・実施方針は適切な内容となっているか。 | |
| 【確認4】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 教育課程の編成・実施方針は周知・公表されているか。 | |
| 【確認5】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| 【適切性の 検証体制】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |
| 【検証 プロセス】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | ・ 「成果」のところに、「毎年4月の学部教授会における決済・承認に反映されている」とありますから、検証エビデンスとして、学部教授会記録も入れてははいかがでしょうか。(評価者 A) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【全体に対するコメント】 | | |

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 第三者評価結果 【国際学部】

A-5. 学生の受け入れ方針

| | | |
|-----------------------------|---|--|
| 【確認1】 | 学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【確認2】 | 学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | ・ 大変わかりやすく明確に記載されている点は、評価されます。(評価者 C) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【確認3】 | 学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 2名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名 | ・ AP に適う学生の水準を判定するための評価方法、及びそれを多角的に活用する場合はその比重を明らかにすることが期待されます。(評価者 C) |
| 【確認4】 | 学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【適切性の 検証体制】 | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 【検証 プロセス】 | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | ・ 「成果」のところに、「毎年4月の学部教授会における決済・承認に反映されている」とありますから、検証エビデンスとして、学部教授会記録も入れてはいかがでしょうか。(評価者 A) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | | |
| 【全体に対するコメント】 | | |

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 第三者評価結果 【国際学部】

A-6. 学生支援に関する方針

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| | 学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。 | |
| 【確認1】 | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | ・ 方針はやや抽象的であるが、個別分野の支援策具体的であることにより、補われている。(評価者 B) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | | |
| 【確認2】 | 方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。 | |
| | (下記のことが明らかであることに留意する。) | |
| | <修学支援> ・ 留年者及び休・退学者の状況把握と対処 ・ 学生の能力に応じた補習・補充教育の実施 ・ 障がい学生に対する修学支援の実施 ・ 奨学金等の経済的支援の実施 | |
| | <生活支援> ・ 学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内 ・ 各種ハラスメント防止に向けた取り組み | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| 1. 適切な自己評価がされている …………… 2名 | ・ 「留年者及び休・退学者の状況把握と対処」「障がい学生に対する修学支援の実施」「各種ハラスメント防止に向けた取り組み」等について、明瞭な記述がありません。(評価者 A) | |
| 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名 | | |
| 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | | |
| 【確認3】 | 学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【確認4】 | 学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【適切性の 検証体制】 | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【検証 プロセス】 | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …………… 3名 | ・ 「成果」のところに、「毎年4月の学部教授会における決済・承認に反映されている」とありますから、検証エビデンスとして、学部教授会記録も入れてはいかがでしょうか。(評価者 A) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名 | |

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <A票> 第三者評価結果 【国際学部】

| | | |
|--------------|-----------------------------|--|
| | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| 【全体に対するコメント】 | | |

A-7. 教員像、教員組織の編制方針

| | | |
|----------------|--|--|
| 【確認1】 | 教員像は、教員に求める能力・資質、教育に対する姿勢等を明確にしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 3名 | ・ 非常に高い人格性が求められていることは高評価に値します。(評価者 B) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名 | |
| 【確認2】 | 教員組織の編制方針は、組織的な教育を実施する上において、必要な役割分担や規模(人数)、教員の専門分野やスキル構成、責任体制、を明確にしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名 | |
| 【確認3】 | 教員像・教員組織の編制方針は教職員で共有されているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名 | |
| 【適切性の 検証体制】 | 適切性の検証体制を明確にしているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 3名 | |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名 | |
| 【検証 プロセス】 | 検証プロセスを適切に機能させているか。 | |
| | 評価者による評価項目とチェックした評価者の人数 | 評価者コメント |
| | 1. 適切な自己評価がされている …… 3名 | ・ 「成果」のところに、「毎年4月の学部教授会における決済・承認に反映されている」とありますから、検証エビデンスとして、学部教授会記録も入れてはいかがでしょうか。(評価者 A) |
| | 2. ほぼ適切な自己評価がされている …… 0名 | |
| 【全体に対するコメント】 | 3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名 | |
| | 【全体に対するコメント】 | |